

分科会開催報告書

報告日 令和2年 7月 31日(金)	報告者 小幡友子
分科会名 浮雲俳句会	開催テーマ 138回浮雲俳句会
開催日時 令和2年 7月 26日(日) 午前9時30分～午前11時30分	開催場所 能見台地区センター多目的室—A—
参加人数 “わ”の会会員	男11名 女6名 合計17名 欠席者0名

実施内容

第138回例会は、兼題①江戸城②生活(晩夏)衣食住まで。他に当季雑詠2句。計4句。句会は、大川一馬会員による添削披露及び、高津春駒会員による選句の披講の後、北野主宰から、天・地・人賞と、特選5句、佳作8句の発表と夫々の句についての論評があった。

天賞句	闇に浮く白きうなじや薫衣香	十九
地賞句	遠花火野良着ばかりの形見分け	春駒
人賞句	妖精の艶やかに舞ふ女王花	とも女
特選句	江戸城の百代の松土用東風	あきえ
	単衣着て大奥偲ぶ江戸城址	勇平
	夏帽子吹かれて谷の山彦に	和女
	ほろ酔ひにもう一軒や暑気払ひ	一税
	どの家も蝦蛄蒸す臭ひ柴漁港	重九

会員高点句

7点句	闇に浮く白きうなじや薫衣香	十九
5点句	江戸城の天守を偲ぶ雲の峰	十九
5点句	籠城にへばる夫婦の端居かな	とも女

次回の予定

令和2年8月30日(日) 午前9時30分～午前11時30分

「第139回例会」は、能見台地区センター多目的室—B—

第139回例会は、兼題①大阪城②人事(初秋)狩猟・農耕・情緒・遊楽。他に当季雑詠2句。合計4句。

披講 大川一馬会員